

平成25年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年5月10日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 アルファクス・フード・システム
 コード番号 3814 URL <http://www.afs.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 田村 隆盛

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長

(氏名) 河原 克樹

TEL 0836-39-5151

四半期報告書提出予定日 平成25年5月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年9月期第2四半期の業績(平成24年10月1日～平成25年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第2四半期	907	1.0	△16	—	△22	—	△17	—
24年9月期第2四半期	898	△19.0	△21	—	△28	—	△26	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年9月期第2四半期	△785.39	—
24年9月期第2四半期	△1,187.22	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年9月期第2四半期	1,720	703	40.9
24年9月期	1,756	720	41.0

(参考) 自己資本 25年9月期第2四半期 703百万円 24年9月期 720百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年9月期	—	0.00	—	—	—
25年9月期(予想)	—	—	—	1,000.00	1,000.00

(注)直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年9月期の業績予想(平成24年10月1日～平成25年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,100	13.1	57	138.1	44	323.5	26	—	1,185.64

(注)直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年9月期2Q	25,138 株	24年9月期	25,138 株
② 期末自己株式数	25年9月期2Q	3,315 株	24年9月期	3,315 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年9月期2Q	21,823 株	24年9月期2Q	22,094 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要、経済政策及び金融政策に対する期待感からの円安進行、株価上昇等、緩やかながら回復感もみられたものの、中国経済の減速懸念、長引くデフレ及び円安の影響による物価上昇の問題等により依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社の主要販売先である外食産業におきましては、引き続き消費者の節約志向は強く、顧客獲得競争は更に激しさを増しております。また、食材価格の高騰等により、当社の事業領域において厳しい状況が続いております。

このような環境のもと、大手外食チェーンを中心に、従来からのASPサービス及びシステム機器を中心とした販売活動に加え、生活防衛意識の高まりにより、消費者志向が変化していることへ対応するべく顧客情報サービスに注力してまいりました。

その結果、当第2四半期累計期間の売上高は907,617千円（前年同四半期比1.0%増）となりました。利益面に関しましては、ASPサービス事業及びシステム機器事業の新規受注を獲得したものの、月額サービスへの寄与に一定の時間を要すること等により、営業損失16,032千円（前年同四半期は営業損失21,742千円）、経常損失22,473千円（前年同四半期は経常損失28,513千円）、四半期純損失17,139千円（前年同四半期は四半期純損失26,230千円）となりました。

事業部門別の業績は、以下のとおりであります。

当社は、ASPサービス事業を単一セグメントとしておりますが、ASPサービス事業を核として、顧客である飲食店舗にASPサービス事業、システム機器事業、周辺サービス事業を一体として提供しております。

① ASPサービス事業

当事業におきましては、月額サービスの新規顧客獲得及び既存顧客へのサービス拡大に注力した結果、新規受注等の獲得等がありました。しかしながら、月額サービスの本格的な回復とはならず、売上高は520,156千円（前年同四半期比2.5%増）となりました。月額サービス料も6ヶ月累計で436,055千円（前年同四半期比0.1%増）と推移しました。

② システム機器事業

当事業におきましては、新規出店及び一部前期からの新規受注のずれ込み等があったため、売上高は271,405千円（前年同四半期比16.5%増）となりました。

③ 周辺サービス事業

当事業におきましては、サプライ品、機器修理及び他社商品の販売等を行った結果、売上高は116,055千円（前年同四半期比26.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 財政状態の状況

当第2四半期会計期間末における総資産は、1,720,527千円となり、前事業年度末に比べ36,104千円減少いたしました。主な増減は、流動資産では、受取手形及び売掛金が91,538千円減少いたしました。固定資産においては、ソフトウェア仮勘定64,080千円の増加がありました。また、流動負債では1年内返済予定の長期借入金100,000千円が減少いたしました。純資産につきましては、四半期純損失の計上により703,519千円となり、17,095千円減少いたしました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動により得られた資金や、投資活動及び財務活動によるキャッシュ・フローにより使用した資金により前事業年度末に比べ43,792千円減少し、当第2四半期会計期間末には456,428千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において営業活動の結果得られた資金は49,662千円（前年同四半期は使用した資金320千円）となりました。これは主に、減価償却費42,076千円の計上及び売上債権97,644千円の減少があった一方で、税引前四半期純損失22,473千円の計上及びたな卸資産68,122千円の増加によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において投資活動の結果使用した資金は82,584千円（前年同四半期は使用した資金21,179千円）となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出64,080千円による資金の減少によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において財務活動の結果使用した資金は10,871千円(前年同四半期は使用した資金125,821千円)となりました。これは主に、社債の発行による収入69,223千円があった一方で長期借入金の返済による支出100,000千円があったことによる資金の減少によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当社主要顧客である外食産業を取り巻く環境は、長引く消費者の節約志向、食材価格の高騰及び顧客獲得競争の激化等厳しい状況が続くものと予想されます。このような状況を踏まえ、平成24年11月16日付の「平成24年9月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」にて公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年10月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年9月30日)	当第2四半期会計期間 (平成25年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	522,720	481,928
受取手形及び売掛金	282,952	191,414
商品	414,914	482,753
その他	61,010	57,866
貸倒引当金	△3,575	△2,460
流動資産合計	1,278,021	1,211,501
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	12,240	11,599
車両運搬具（純額）	0	0
工具、器具及び備品（純額）	184,342	155,486
土地	20,429	20,429
建設仮勘定	14,123	29,203
有形固定資産合計	231,135	216,718
無形固定資産		
ソフトウェア	28,765	17,490
ソフトウェア仮勘定	—	64,080
その他	2,445	2,445
無形固定資産合計	31,211	84,016
投資その他の資産		
出資金	145	153
長期前払費用	103,564	104,846
繰延税金資産	27,730	28,473
長期未収入金	82,446	76,018
その他	34,559	34,837
貸倒引当金	△36,644	△40,426
投資その他の資産合計	211,803	203,903
固定資産合計	474,149	504,638
繰延資産		
社債発行費	4,460	4,387
繰延資産合計	4,460	4,387
資産合計	1,756,631	1,720,527

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年9月30日)	当第2四半期会計期間 (平成25年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	64,179	75,454
短期借入金	561,000	611,000
1年内償還予定の社債	60,000	74,000
1年内返済予定の長期借入金	100,000	—
未払法人税等	18,098	2,580
引当金	14,417	14,388
その他	91,280	86,250
流動負債合計	908,976	863,674
固定負債		
社債	110,000	136,000
引当金	17,039	—
退職給付引当金	—	17,333
固定負債合計	127,039	153,333
負債合計	1,036,016	1,017,007
純資産の部		
株主資本		
資本金	537,862	537,862
資本剰余金	143,599	143,599
利益剰余金	287,460	270,320
自己株式	△248,239	△248,239
株主資本合計	720,682	703,542
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△66	△22
評価・換算差額等合計	△66	△22
純資産合計	720,615	703,519
負債純資産合計	1,756,631	1,720,527

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)
売上高	898,819	907,617
売上原価	643,084	628,228
売上総利益	255,734	279,388
販売費及び一般管理費	277,476	295,421
営業損失(△)	△21,742	△16,032
営業外収益		
受取利息	50	31
雑収入	492	376
営業外収益合計	543	408
営業外費用		
支払利息	4,211	4,217
支払保証料	1,244	1,031
その他	1,859	1,600
営業外費用合計	7,314	6,848
経常損失(△)	△28,513	△22,473
特別損失		
貸倒引当金繰入額	2,156	—
特別損失合計	2,156	—
税引前四半期純損失(△)	△30,669	△22,473
法人税、住民税及び事業税	787	747
法人税等調整額	△5,226	△6,081
法人税等合計	△4,439	△5,333
四半期純損失(△)	△26,230	△17,139

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失(△)	△30,669	△22,473
減価償却費	47,518	42,076
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2,937	2,667
賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,782	△28
退職給付引当金の増減額(△は減少)	1,810	293
受取利息及び受取配当金	△50	△31
支払利息	6,464	5,998
売上債権の増減額(△は増加)	96,200	97,644
たな卸資産の増減額(△は増加)	△71,804	△68,122
仕入債務の増減額(△は減少)	△41,250	11,275
その他の流動資産の増減額(△は増加)	5,213	7,680
その他の流動負債の増減額(△は減少)	3,609	△5,085
その他	1,067	△1,099
小計	18,266	70,795
利息及び配当金の受取額	50	31
利息の支払額	△5,654	△5,370
法人税等の支払額	△12,982	△15,793
営業活動によるキャッシュ・フロー	△320	49,662
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△6,512	△15,428
無形固定資産の取得による支出	△5,000	△64,080
定期預金の預入による支出	△4,200	△3,000
敷金及び保証金の差入による支出	△7,652	△79
敷金及び保証金の回収による収入	2,180	—
その他	4	4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△21,179	△82,584
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	828,000	950,000
短期借入金の返済による支出	△828,000	△900,000
長期借入金の返済による支出	—	△100,000
社債の発行による収入	—	69,223
社債の償還による支出	△30,000	△30,000
株式の発行による収入	116	—
自己株式の取得による支出	△79,237	—
配当金の支払額	△16,700	△94
財務活動によるキャッシュ・フロー	△125,821	△10,871
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△147,322	△43,792
現金及び現金同等物の期首残高	644,871	500,220
現金及び現金同等物の四半期末残高	497,548	456,428

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

当社は、ASPサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。